

吉田川治水だより

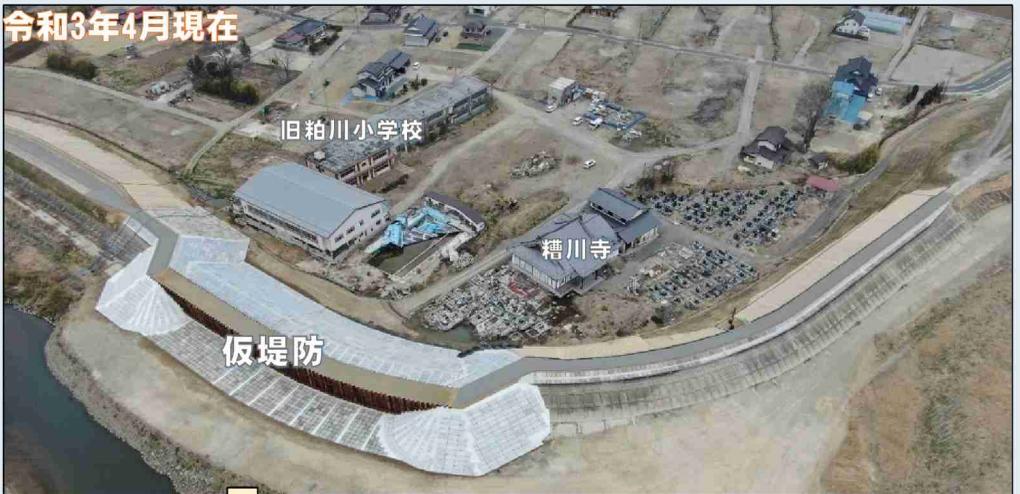
～ 吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」～

『吉田川治水だより』は、国土交通省が実施している事業の内容や進捗状況等について、地域の皆様へお知らせするお便りです。 国土交通省 北上川下流河川事務所

新しい堤防の工事に着手します

大郷町中粕川地区では、吉田川の新しい堤防が完成するまでの安全を確保するため昨年度まで仮堤防の補強工事を実施してきました。今年度からは、新しい堤防の工事に着手します。今年度は、堤防の重みに耐えられるように地盤を強化し、段階的に盛土を進めます。令和6年の洪水期までの完成を目標に大郷町の中粕川復興まちづくり計画と一体となって工事を進めて参ります。

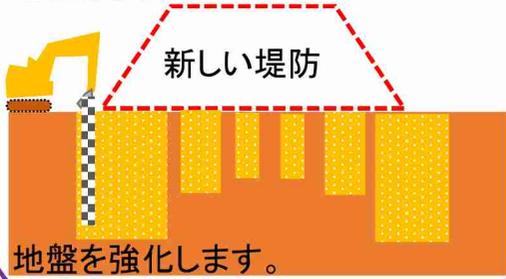
令和3年4月現在



今年度の吉田川新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」の予定

大郷町粕川地区

令和元年東日本台風で堤防が決壊した大郷町中粕川地区では、新しい堤防の工事に着手します。初めに新しい堤防重みに耐えられる強い地盤にする工事を実施し、その後、堤防を盛土します。



大崎市志田谷地地区 水防災拠点整備事業

洪水時に、住民及び農機等の避難地となっている水防災拠点に、被災した地域の集会所及び緊急時の排水活動の拠点を大崎市と国土交通省が共同で再整備します。



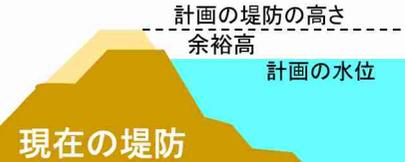
吉田川新たな水害に強いまちづくりプロジェクト

関係機関と協力し、本プロジェクトを推進するとともに、シミュレーションを用いてより効果的な具体的メニューを検討し、今年度中に更新します。



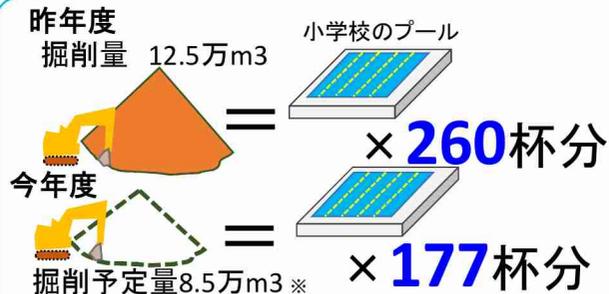
吉田川・鳴瀬川 堤防かさ上げ・拡幅

河道掘削で発生した土砂を有効活用し、堤防を高くする工事を行います。また、堤防の幅が不足する区間について拡幅します。



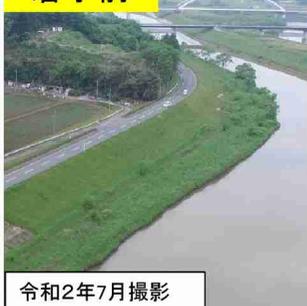
吉田川下流の河道掘削(東松島市、松島町)

吉田川の川の流れを良くするため、河川敷の土砂を掘削する工事を進めます。下流から掘削することで、上流側の水位を下げる効果もあります。



※護岸設置が必要のため費用や時間を要し昨年度より掘削予定量が減少しています。
※現場条件等により最終的な掘削量が増減する場合があります。

着手前



掘削後



凡例

掘削	— (Red solid line)	昨年度
	- - - (Red dashed line)	今年度
築堤	— (Green solid line)	昨年度
	- - - (Green dashed line)	今年度

災害の教訓を後世に引き継ぐために

3月25日、水害の記憶を次の世代に確実に引継ぎ、洪水時の避難等を促すために、大きな被害があった昭和61年8月洪水と令和元年東日本台風の浸水深さを示す表示板を現地に設置しました。大崎市鹿島台志田谷地地区並びに大郷町中粕川地区で設置式が行われ、次の時代を担う世代が設置を担当しました。

志田谷地地区での設置の様子

中粕川地区での設置の様子

大崎市

大郷町

上志田

下志田

吉田川

中粕川

鶴崎

設置位置

- : 新設看板(①、②)
- : 既存看板(昭和61年洪水水位)

※国土地理院地図に事業位置を追記して作成

① 2019・10・12~13 国土交通省
令和元年東日本台風
▽浸水 ここまで

② 1986・8・4~5 国土交通省
昭和61年8月洪水
▽浸水 ここまで

吉田川の国直轄事業100周年を迎えました

大正10年に江合川・鳴瀬川・吉田川の国による事業・管理を始めて以来、今年で100周年を迎えます。低平地で一度はん濫すると浸水が長期化しやすい地形特性に対して、吉田川の背割堤の設置、鶴田川の分離、新江合川の開削、二線堤の設置などの事業を進め治水安全度向上に取り組んで参りました。これまでの治水の歴史や地域特性、さらには、気候変動による影響を踏まえ、より安全で安心な地域を目指して、流域の関係機関と一体となり取組を進めて参ります。

江合川・鳴瀬川・吉田川直轄編入100周年
～事務所開設110周年～



防災情報

大雨の際は・

川の水位をスマホでチェック

川の水位情報

検索



新年度も引き続きより安全で安心な地域を目指し、事業推進に尽力してまいります。

《吉田川治水だよりに関するお問い合わせ》

国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 事業対策課 TEL0225-94-9793